



相変わらずの爺馬鹿振りである。孫の作品が銀座松屋で展示されていると聞けば、家内との昼休みのデートを兼ねての観覧である。ジオラマを作成したようだ。同じような老夫婦も居なかった訳ではないが・・・。お笑いめさるな！
(都内私立小学校生徒作品展)

さて、中国がミサイルによる衛星破壊実験に成功したと報じられている。先には、米空母への隠密接近に成功し、此度は、米国軍事力のもう一方の牙城・柱たる宇宙軍事力への明らかな挑戦である。係る中国の飛躍的な軍事力増強に我が国は手を拱いていて良いのだろうか。懸念を表明したところで何ほどの効果があろう。蛙の面に小便みたいなものだ。

当社に入社して、月に一度の当社経済研究所が勤務時間外に実施している月例研究成果説明会に時間の許す限り参加させて頂いている。当初は経済的な分野については全くちんぷんかんぷんであったが、最近では少しは解るようになった？否解らなくても、門前の小僧位にはなれるだろうとの一念発起である。

今月のタイトルは、「人口減少・格差社会」であり、時宜に適い、小生も感心のある事項であったので、参加した。その要点と所見を述べる。

1 人口減少・格差社会に関する現状と将来予測のデータ

- ① 50年後の将来推計人口：8,993万人までに減少（合計特殊出生率：1.26（2005年））
- ② 50年後の65歳以上の人口比率：40.5%超
- ③ 人出不足に向かう労働市場（完全失業率及び有効求人倍率の改善、雇用人員判断DI）
- ④ 団塊世代の大量退職（重厚長大製造業に集中、技術の継承？産業構造の変化）
- ⑤ 女性労働力：M字型（30歳代の就労率が低い）
- ⑥ フリーター：依然として200万人超
- ⑦ 男性正社員の生涯平均賃金2.4億、非正社員：0.6億
- ⑧ 高齢化に伴う社会保障関係費の増大（一般歳出に占める比率：現在44.4%）
2006年度約90兆→20年後141兆円へ
- ⑨ 若年層で広がる所得格差（30歳未満のジニ係数0.237と増大）
- ⑩ 生活保護世帯の増加：2%台
- ⑪ 資産格差、地域格差の増大

2 所見

(1) 悲観的に過ぎないか？

現状の雇用システムや社会保障システムを前提にするならば、悲観的にならざるを得ない。功の部分はないのか。将来推計を大幅に改善できないのであれば、それを与件として受け入れて、その中で如何により良きものを求めるかが必要なのだろう。

少子・高齢化の陰ばかりを列挙するのではなく、光の側面をも考察する必要があるの

ではないだろうか。アイデア次第で色々と面白い時代になるのではないだろうか。知恵を出し合う必要がある。今、明確なものがある訳ではないけれども・・・

(2) 政治のリーダーシップ

如何なる処方箋を提示し、実行するか政治のリーダーシップが望まれる。先送りは許されない。政策が正しいと解っていても、国民に苦痛を強いる政策を政治家は避けるという性、習性を持っている。敢えて火中の栗を拾わんとする者は少ない。

弥縫策ではなく、大胆克思い切った施策をとらねばならない。子孫につけを廻すべきではない。

(3) 個人の意識改革が重要

- 60歳定年或いは65歳以上を老人とする概念を改める必要がある。60歳代は洩垂れ小僧である位の気力を持たねばならない。10歳位引き上げても良いのではないだろうか。その様に意識付けし、活用すべきだ。

考えても見れば、人生八十年時代である。小生もそうだが、60歳と雖も若い者にまだまだ負けはしない。流石に体力的には昔の面影はないとしても、それを補って余りある経験・ノウハウそして知恵がある。洩垂れ小僧の意気で第二の人生を雄雄しく生きるべきである。それを可能にする体力も気力も金もある筈だ。社会もシニアパワーを思い切り活用すべきである。

- 少子化対策は物質的な側面だけで語るべきではない。家族の良さや子供を持つことの素晴らしさを教えねばならない。政府の少子化対策を聞いていると、どうも物質的な側面に偏重しているのではないかと思わないでもない。勿論、それらも重要ではあるが、最も大事なことは子供を持つと言うこと家族を創ると言うことが如何に素晴らしいことなのかを認識させることではなかろうか。貧乏であっても、明るく元気に家族が暮らしていけるのであればこれに優る幸せはない筈なのに、最近価値観が変わってきたのだろう。

(4) 社会的弱者の救済を！UNFAIRな者は徹底糾弾を！

如何に努力しても、社会的な弱者に甘んじなければならぬ者も存在しよう。その様な者に適切な手を差し伸べることは社会として当然なことである。然しながら、正当な社会的弱者とアンフェアなものは明確に峻別されるべきである。社会的公平性を維持することが極めて重要である。払えるのに給食費を払わない親、賃金水準をはるかに上回るのに住宅に居座り続ける不届き者、法の盲点を突いて経費をごまかす政治家、耐震強度基準を偽造する建築士、杜撰な衛生管理を何とも思わぬ老舗企業等々何と厚顔な連中の多いことか、真面目に生きることを絶対の美德と叩き込まれた昔気質の小生には理解できぬことが多すぎる。